

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーは機会の扉を開く

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2020年10月1日 第3438回例会

会 長	光 寄 賢 一	副 幹 事	鈴木 洋 志
幹 事	柄 倉 勲	副 会 長	松田 暁 昌
会長エレクト	梯 國 彦	会報委員長	加藤 寛 之

プログラム

米山月間卓話

崔 小萍さん(米山奨学生)

テーマ「自己紹介」

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

10月度のプログラム

- 1日 米山月間卓話 崔小萍さん
- 8日 インシエーションスピーチ 安藤滋朗君 鶴飼雅弘君
- 15日 古田正巳氏(一宮FDC事務局長)
- 22日 休会 定款第7条第1節d-1
- 29日 例会変更 職場例会 カリモク家具本社見学会員誕生日おめでとう

- 島田典明君(10月 2日)中島幸介君(10月 5日)
- 加藤寛之君(10月 9日)杉山義幸君(10月10日)
- 小川健司君(10月16日)木村亮一君(10月19日)
- 関戸 徹君(10月27日)

会員夫人誕生日おめでとう

- 内藤幹夫君夫人弘香様(10月 4日)
- 牛田 猛君夫人尚子様(10月 8日)
- 加藤恭平君夫人洋子様(10月14日)
- 足立 誠君夫人明美様(10月17日)
- 梯 國彦君夫人美佐様(10月25日)
- 瀬古篤司君夫人真由美様(10月26日)
- 藤原基弘君夫人和代様(10月29日)
- 木村 実君夫人 薫 様(10月30日)

結婚記念日おめでとう

- 関戸 徹君(10月 4日)丹羽 健君(10月 6日)
- 二ノ宮道彦君(10月 9日)木村 実君(10月10日)
- 中西啓太君(10月10日)石黒敬康君(10月10日)
- 則竹伸也君(10月11日)小島幹人君(10月13日)
- 桑原英寿君(10月14日)瀬古篤司君(10月15日)
- 川松保夫君(10月18日)森 隆彦君(10月19日)
- 加藤昭宏君(10月22日)三嶋啓一郎君(10月23日)
- 梯 國彦君(10月25日)伊藤光治君(10月26日)

次回の予定

インシエーションスピーチ
安藤滋朗君
鶴飼雅弘君

新会員紹介



氏 名	黒崎 恵美 君
職業分類	電 気 事 業
勤 務 先	中 部 電 力 パワーグリッド(株)
役 職 名	一宮営業所長
生年月日	昭和46年6月10日
紹 介 者	大森輝英君

第3437回例会の記録 2020年9月24日(木)

会長挨拶

光寄賢一

今日はお客様はありませんが、後ほど退会のご挨拶を頂く山下啓介君の後任で10月1日ご入会予定の黒崎恵美さんがお越しになりました。ようこそいらっしゃいました。

そして今日の卓話は、野々垣武彦君、都築健君のインシエーションスピーチです。当初の行事予定では8月6日の例会卓話としてお願いしていましたが、コロナ対策の休会のため今日に延期になりました。大変お待たせしました。よろしくお願いします。

コロナの夏は酷暑でしたが、ふと気が付くと朝晩、涼しいと感じる季節になりつつあります。10月29日の職場例会の準備も進んでいます。既に40名超のご参加申し込みを頂いているようです。4連休は全国で予想以上の人があったようで、今までの流れでいけば10日後の感染者増大が心配ですが、いつまでも経済を回さないでいけば日本は干上がってしまう。岡部ガバナーの言葉にあったように過剰に怖れずしかし侮らず、可能な感染対策を行った上での職場例会が無事実施出来たらありがたいなあと思います。なお、時節柄ご参加の折はマスク必携です。ご了承下さい。

お城、あれこれ (7)

「お城の庭に宿場町があった？」

幕末の頃には、名古屋城北部、今の名城公園の一带に約13万坪といわれる広大な庭園が広がっていました。御深井御庭と呼ばれます。元々名古屋台の北端にあった低湿地であった上、築城に際し土取りのために掘った穴が大池泉となったと伝えられる巨大な蓮池がありました。この池はお城北側の防衛空間の中心でもあったのです。将軍家光が上洛に際して名古屋城に立ち寄った際にこの庭が気に入り、江戸城の吹上のお庭を造ったとも伝わります。第十代齊朝は二之丸庭園も大拡張したのですが、ここ御深井御庭でも敷地をさらに広げ、お抱えの農民が耕作する田畑を庭の中に田園風景として造り、杉股町と名付けられた宿場町や達磨町と名付けられた門前

町の架空空間を造りました。殿様専用のテーマパークです。尾州家は江戸の下屋敷の戸山屋敷にそんな空間を持っていましたから、国元の名古屋にも造ったのでしょうか。平和な時代に金を無駄に使ったのきな遊びです。この殿様は將軍家斉の弟の子で一橋家からの養子。一応、母方が初代義直の血をかるうじて承継しておられました。しかし儉約將軍吉宗の血も四代を経ると薄くなるのでしょうか。

委員会報告

ニコボックス

柴垣健一

☆ 野々垣武彦君

イニシエーションスピーチの機会をいただきありがとうございました。

☆ 都築 健君

イニシエーションスピーチの機会に感謝して。

☆ 光寄賢一君 柄倉 勲君

本日は8月6日に予定をさせていただいていましたが、コロナ渦により例会が中止になり延期させて頂きましたイニシエーションスピーチです。昨年度令和1年6月20日入会の都築 健さん、野々垣武彦さん大変、大変お待たせいたしました。本日はよろしく願いいたします。

出席報告

現在の会員数	112名
本日の出席数	69名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

イニシエーションスピーチ

野々垣武彦君

テーマ「自己紹介」



私は昭和30年11月に旧葉栗郡木曾川町に生まれ、現在99歳の母と妻の3人暮らしであります。子供は長男、長女おりますがすでに巣立っております。専修大学卒業後、昭和53年4月に旧一宮信用金庫(現いちい信用金庫)に入庫し42年になります。職歴は本店営業部始め営業店を7店舗経験した後50歳から本部勤務となり、昨年6月に専務理事を退任し今は関連会社の信栄商事株式会社に勤務しております。

今回、皆さんに何をお話ししたらいいか悩んだ末、社会人になって最も印象に残っているエピソードを2点ご紹介させていただきます。1点目はプライベートで2点目は仕事に関する事です。まずプライベートでは、55歳の時に健康維持のため“歩いて中山道を1年間で踏破する”を目標に掲げ実行した事例であります。中山道は東京・日本橋～京都・三条大橋を結ぶ道で、東海道は53宿に対して中山道は69宿あります。京都方面は順調に進みましたが木曾路に入ってから苦労の連続で日頃の平和ボケを痛感しました。最終日の元旦は軽井沢宿～松井田宿のある難所の碓氷峠越えでは遭難するかと思われました。この1年間は私の宝物になっております。

2点目の仕事に関する事では、平成19年に総務

部長を拝命し最初のミッションは新本店建設を無事竣工することでありました。設計業者と施工業者のおかげで基本設計から3年間で無事竣工ができミッション達成しましたが、実は同時進行の隠れミッションがありました。それは“ホテルの庭”の造園であります。新本店建設のコンセプトは環境をテーマにしており、当時のトップから自然環境に対する当金庫の取組姿勢をアピールするため清浄な環境のシンボルであるホテルの棲む庭を造ってほしいとの事でありました。

ホテルの庭ができるまでとホテルの生態系及びホテル鑑賞会のDVDをご覧いただきたい

毎年6月初旬にホテル鑑賞会を開催しておりますが、今年は新型コロナの影響で中止になりましたが、来年はお時間があれば是非ご鑑賞いただきたいと思っております。

最後になりますが一宮ロータリークラブの一員として微力ながら頑張りますので今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

都築 健君
テーマ「自己紹介」



昨年6月に豊島様のご紹介により、歴史と伝統のある一宮ロータリークラブに入会させていただき、早1年2ヶ月が経ちました。今回はイニシエーションスピーチの機会を頂き深く感謝申し上げます。

私は昭和42年2月にあま市に生まれ、建築業自営の父、母、4歳下の弟の4人家族で育ちました。8年前に一宮市に居を移し、妻に、娘、高校生の息子2人の5人家族ですが、娘の東京での就職により現在は一宮市八幡二丁目に4人で暮らしております。学生時代は勉強よりサッカーに打ち込み、特に中学の時は、ほぼ毎日サッカー漬けでした。私の力ではないですが県大会で3位の成績を挙げることが出来て良い記憶として残っています。大学は興味のあった医療の道に進み、平成元年に臨床検査技師・臨床工学技士として公立尾陽病院(現あま市民病院)の人工腎臓室に就職しました。病院では約11年間、人工透析・血漿交換・血液吸着・心臓カテーテル検査等いろいろな業務を経験させて頂きました。平成12年に、お世話になっていた透析部長の先生が開業されることになり転職を決意しました。そのご縁のおかげで平成13年に株式会社ジャストメディクスを立ち上げ、大和町毛受に第1号店(くすのき薬局毛受)を開局しました。現在は一宮市内に調剤薬局を9店舗、買い物デイサービスを1店舗運営しています。

社会保障制度の財政逼迫で調剤薬局を取り巻く経営環境は年々厳しい状況になってきています。薬局が生き残っていくためには地域に必要ななければなりません。薬局の売の商品は薬という認識から、健康を売る・地域の健康を支えるに定義を変えなければなりません。一宮ロータリークラブにご縁を頂いたことに感謝し、今後も一宮市に根を下ろした新しい地域密着型の調剤薬局を展開していきたいと思っております。ロータリアンとしてはまだまだ未熟ですが精一杯頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。